

# 熊本地震支援でいかされる 東日本大震災での被災者支援の経験

一般社団法人 minori(みのり) 益城町地域支え合いセンター  
センター長 高木聡史

# 一般社団法人 minori の紹介

設立：平成30年5月

設立経緯：

平成28年4月に前身団体である

こころをつなぐよか隊ネット 設立

(ホームレス支援の経験と東日本震災支援の経験を融合させて活かす  
目的でPSC、共生地域創造財団の支援を受け設立、車中泊調査、み  
なし仮設訪問支援事業を平成28年10月より受託)

平成30年4月

よか隊ネットからみなし仮設支援事業部門が独立、その後法人化

## (一社) **minori** の設立目的

- ・熊本地震の被災者の支援
- ・被災により顕在化した問題に広く対処する
- ・生活困窮者、障害者、外国人、LGBT等の少数者への伴走型支援を行う。
- ・支援対象者の自立及びコミュニティとの共生を支援する

# 東日本震災の支援経験の継承

- ・ 民間によるネットワーク組織の立ち上げ
- ・ 災害中心地への支援の過集中を避けた支援
- ・ みなし仮設見守り支援の方法と必要性の伝達
- ・ 行政と受託事業者との被災者支援事業の立ち上げから運営のコーディネート
- ・ 訪問事業のモデル、及び個人情報保護の徹底

## ■ 団体概要

「一般社団法人よか隊ネット熊本」は「こころをつなぐ『よか隊ネット』」を前身とし、日ごろから困窮者支援や環境問題、地域での孤立者支援、子ども支援、東日本大震災被災者支援などの活動をしてきた多様な団体で2016年4月19日に結成。各団体がこれまで培ってきた専門性と地域とのつながりを活かし、被災者支援を実施。2017年3月に一般社団法人へ。

## ■ 活動理念

- ① 最も小さくされた人々に偏った支援を行う
- ② できないことは、あやまる
- ③ 震災前から実施されていた地元団体の活動を基本としつつ活動する

■ 加盟団体      83団体（うち20団体が県外の団体）

## ■ 事業内容

### 加盟団体支援事業（A型事業）

- ・ 団体コーディネート
- ・ 物資支援、車両支援、人的支援
- ・ 相談支援
- ・ 助成金

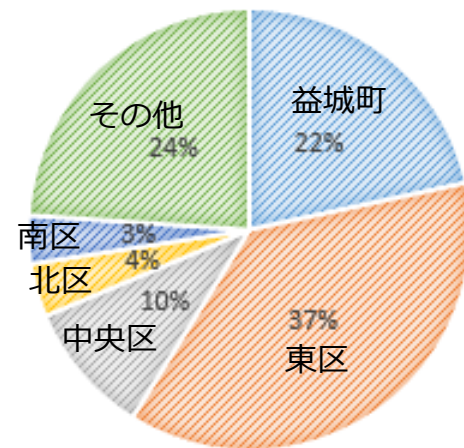
### 主体事業（B型事業）

- ・ 車中避難者 アンケート調査
- ・ 夜間巡回
- ・ 個別相談窓口支援
- ・ 上小谷地区支援（擁壁問題）
- ・ つながる広場（イベント）
- ・ つながるカフェ（コミュニティ作り支援）
- 益城町地域支え合いセンター（みなし仮設）

# 益城町地域支え合いセンター(みなし仮設)

## 益城町社会福祉協議会委託事業

期間	2017.4.1～2019.3.31 (2016.10.1開始)
対象	益城町で被災し ・ 県下のみなし仮設に入居された世帯 ・ 公営住宅に緊急避難した世帯 計 1623世帯
目的	・ 孤立を防ぐ ・ 住宅再建、生活課題に対する支援 ・ 孤独死、自死の防止に努める



みなし仮設地域割合  
(益城町)

# みなし仮設／プレハブ仮設

みなし仮設	プレハブ仮設
点在・分散 孤立化しやすい	集合・団地 コミュニティ構築が行いやすい
見えにくい・分かりにくい ボランティア活動の対象になりにくい	分かりやすい 様々な支援が入りやすい
情報が得にくい 情報格差が生まれやすい	情報が得やすい
常駐支援者を置くことができない 見守りに困難がある	常駐支援者を置くことができる 見守りがしやすい 常駐者がコミュニティに溶け込みやすい



# 支援の流れ

## 【アポイントメント～訪問】

- ①架電 → アポイントメント → 訪問
- ②周辺地域へ伺う際に訪問  
不在の場合は不在票を残し、改めて連絡

## 【面談】

- 2人一組(基本的に男女ペア) 15分～2時間
- 傾聴し、問題点を確認。専門分野へつなぐことも
  - ・地震からの経緯
  - ・健康状態
  - ・仕事、生活状況
  - ・再建計画
  - ・困り事 等

## 【面談後～継続訪問】

- 面談内容をもとに、緊急度別にA～Dへランク付け
- 上記のランクをもとに、定期的な見守り支援を行う

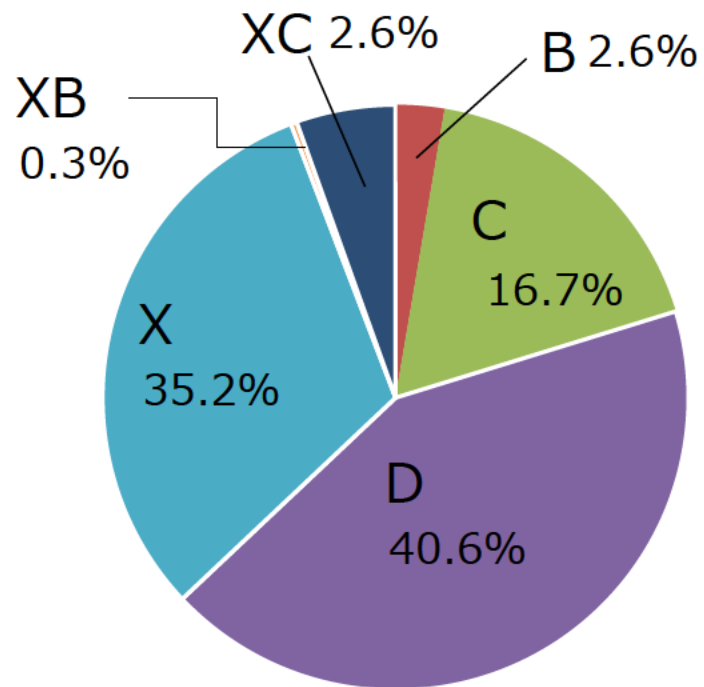


ランク	詳細	件数	割合
A	差し迫った危険、危機的状況があり、緊急の介入、支援が必要な世帯	0	0.0%
B	Aランクほど差し迫った状況はないが、困難な課題に直面しており、中心となる支援者がおらず孤立しているなど、行政職員を中心とした継続的な支援が必要な世帯	41	2.6%
C	おおむね生活が安定しており、直ちに支援の必要はないが、今後支援が必要となる可能性があり、月に1回程度の見守りが必要な世帯	269	16.7%
D	当面支援の必要がないと考えられる世帯。3カ月に1回程度訪問し行政からの情報提供や、生活、健康面の確認を行う	654	40.6%
X	転居等で見守り対象から外れた世帯	113	29.7%
XB	転居はしているが、引き続き困難な課題に直面しており、Bランクと同じく継続的な支援が必要な世帯	5	0.3%
XC	転居はしているが、Cランクと同じく今後支援が必要になる可能性があり、月に1回程度の見守りが必要な世帯	84	5.2%
他	面談等が行えず、ランクを決定できない世帯や取り下げ世帯 等	80	5.0%
	障がい者を含む世帯	69	4.3%

→**B,C,XB,XCランク**：「継続訪問」「課題解決へのサポート」が必要

# ランク比率

ランク	2018年8月現在
A	0
B	41
C	269
D	654
X	478
XB	5
XC	84



見守り必要世帯 24.8%

# 高齢者世帯の比率

構成	世帯人数	世帯数	比率
高齢者 独居	1人	<b>133</b>	<b>8.3%</b>
高齢者 のみ	2人以上	<b>215</b>	<b>13.3%</b>
高齢者 含む (独居,のみを除く)	2人以上	<b>456</b>	<b>28.3%</b>

総世帯	1611世帯	
高齢者がいる世帯	804	49.9%

# イベント【つながる広場】

- ・ みなし仮設同士のつながり
- ・ 情報や物資の提供
- ・ 相談ブースの開設



第1回:2016年12月18日(日)

第2回:2017年 4月 2日(日)

第3回:2017年 9月10日(日)

第4回:2018年 2月24日 予定

@広安西小学校

# 今後の課題

## 転居後の不安

- 1600世帯中、567世帯が転居
- 転居後世帯中、15.7%の世帯に不安がある

中越地震 長岡市では、転居後、  
健康不安...9%、生活に関する不安...14% 計...23%

今後は...？

- 益城 3000世帯 → 公営住宅入居 680世帯

残りの2320世帯はどこが見守るのか...？